

2019年度第3四半期 決算説明会

2020年2月3日
株式会社村田製作所

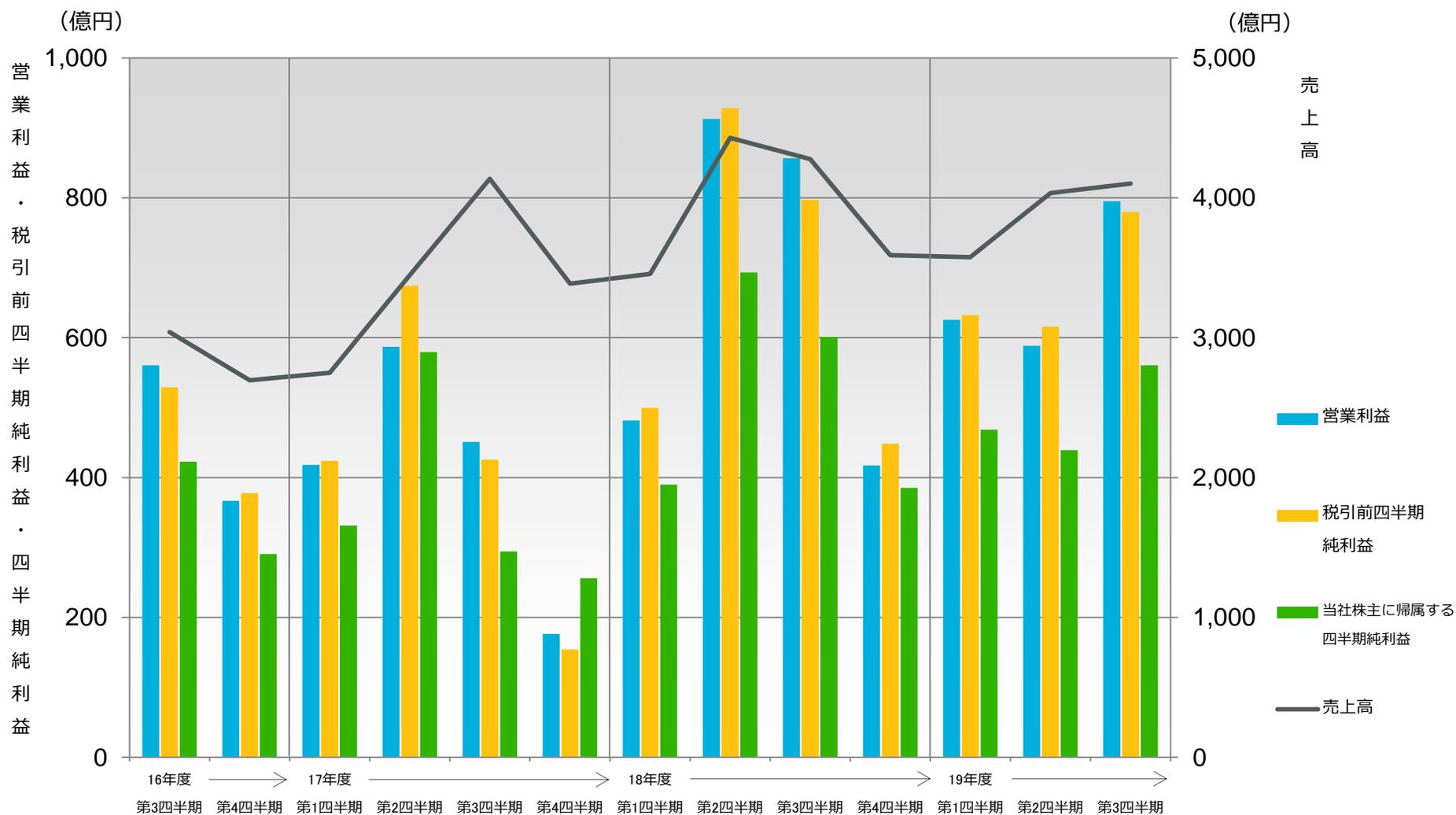


1. 2019年度 第3四半期業績概要

2019年10月～2019年12月
第3四半期連結会計期間

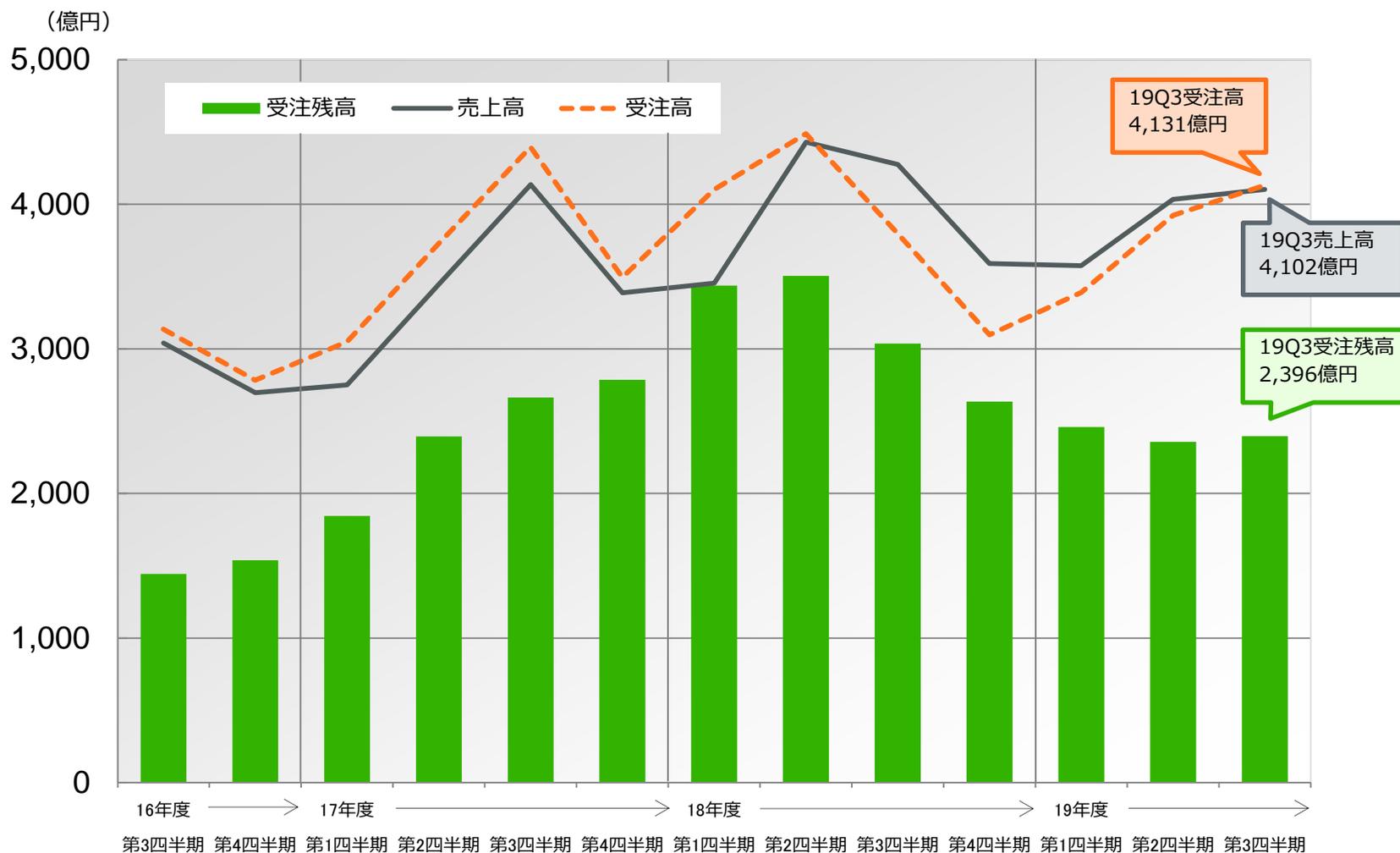
- 当第3四半期の売上高は、基地局向けにコンデンサの需要が大きく拡大したものの、代理店向けで在庫調整の影響を受けてコンデンサが減少したほか、スマートフォン向けに樹脂多層基板やリチウムイオン二次電池が減少し、前年同期比4.1%の減少。
- 当第3四半期の営業利益は、原価低減の取り組みを進めたものの、生産高減少による操業度損や値下げの進行により、前年同期比7.2%の減少。営業利益率は19.4%。
- 営業利益は通期の営業利益予想に対して87%の進捗。
- 期末配当を従来予想比3円増配(1株あたり47円⇒50円)

業績推移 [四半期]

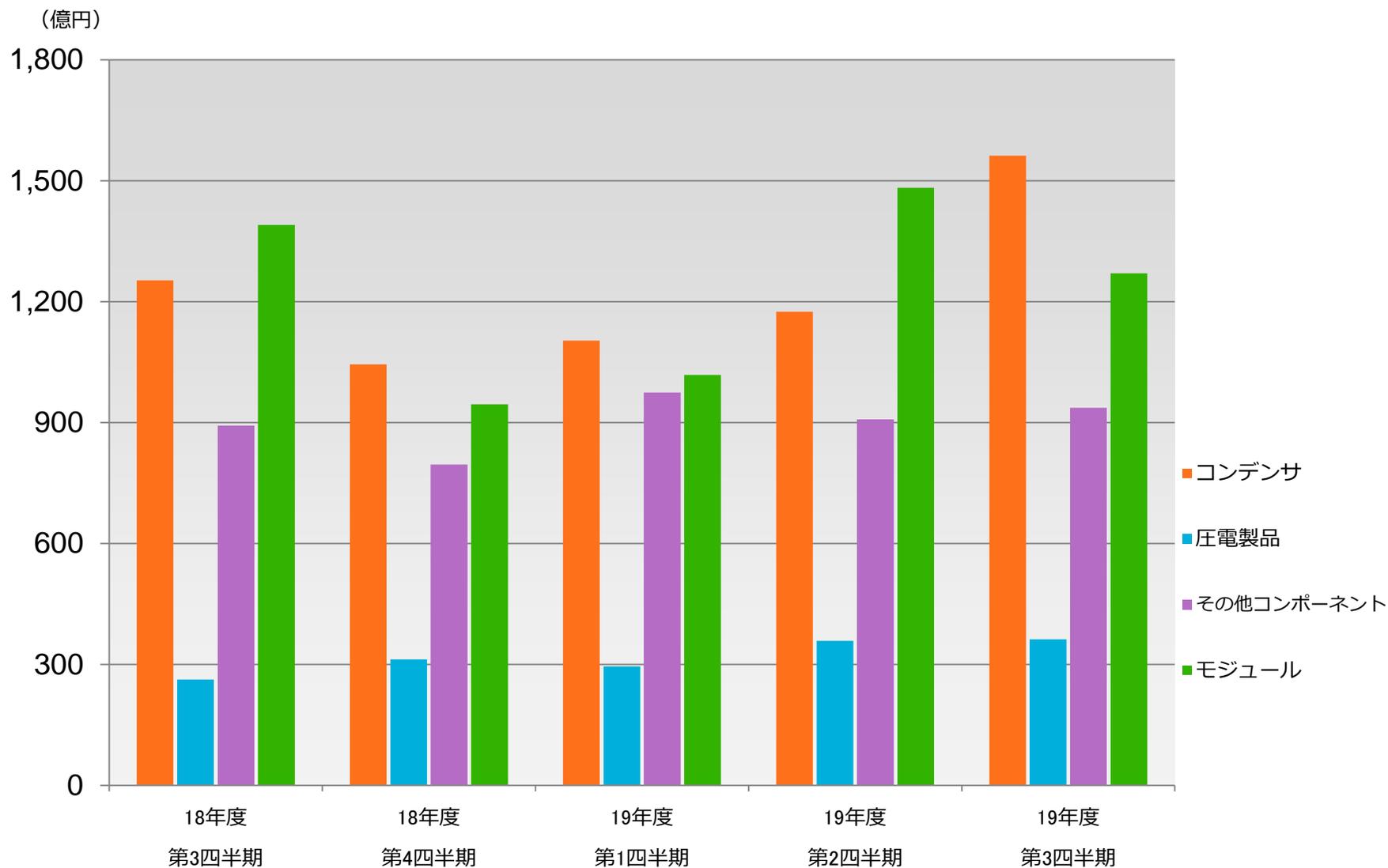


	2018年度		2019年度		2019年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		19Q3/18Q3		19Q3/19Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	4,276	100.0	4,034	100.0	4,102	100.0	▲174	▲4.1	+68	+1.7
営業利益	856	20.0	588	14.6	795	19.4	▲61	▲7.2	+207	+35.1
税引前四半期純利益	797	18.6	616	15.3	780	19.0	▲17	▲2.2	+164	+26.6
当社株主に帰属する 四半期純利益	601	14.1	439	10.9	561	13.7	▲41	▲6.8	+121	+27.7

売上・受注・注残推移 [四半期]



製品別受注高推移



製品別売上高

	2018年度 第3四半期		2019年度 第2四半期		2019年度 第3四半期		前年同期比 19Q3/18Q3		直近四半期比 19Q3/19Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
コンデンサ	1,583	37.1	1,378	34.2	1,457	35.6	▲126	▲7.9	+80	+5.8
圧電製品	321	7.5	319	7.9	336	8.2	+16	+4.9	+17	+5.5
その他コンポーネント	992	23.3	986	24.5	928	22.7	▲64	▲6.5	▲58	▲5.9
モジュール	1,371	32.1	1,343	33.4	1,370	33.5	▲1	▲0.1	+27	+2.0
製品売上高計	4,266	100.0	4,025	100.0	4,092	100.0	▲175	▲4.1	+66	+1.6

製品別売上高概況

[2019年度第2四半期→2019年度第3四半期]

<p>コンデンサ (直近四半期比+5.8%)</p>	<p>○チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC) 基地局向けに中圧品の需要が拡大したことやハイエンドスマートフォン向けで増加</p>
<p>圧電製品 (直近四半期比+5.5%)</p>	<p>○表面波フィルタ 中国スマートフォン向けで増加</p>
<p>その他コンポーネント (直近四半期比▲5.9%)</p>	<p>▲リチウムイオン二次電池 ゲーム機向けやPC向けで減少</p> <p>▲コネクタ ハイエンドスマートフォン向けやタブレットPC向けで減少</p> <p>▲コイル ハイエンドスマートフォン向けで減少</p>
<p>モジュール (直近四半期比+2.0%)</p>	<p>○通信機器用モジュール ハイエンドスマートフォン向けで増加</p> <p>○近距離無線通信モジュール タブレットPC向けで減少したものの、ハイエンドスマートフォン向けで増加</p> <p>▲樹脂多層基板 ハイエンドスマートフォン向けで減少</p>

用途別売上高

	2018年度		2019年度		2019年度		前年同期比		直近四半期比	
	第3四半期		第2四半期		第3四半期		19Q3/18Q3		19Q3/19Q2	
	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
A V	175	4.1	177	4.4	148	3.6	▲26	▲15.0	▲29	▲16.2
通信	2,133	50.0	2,121	52.7	2,261	55.3	+128	+6.0	+140	+6.6
コンピュータ及び関連機器	680	15.9	606	15.1	581	14.2	▲99	▲14.5	▲25	▲4.2
カーエレクトロニクス	660	15.5	661	16.4	662	16.2	+1	+0.2	+0	+0.0
家電・その他	619	14.5	460	11.4	439	10.7	▲180	▲29.0	▲20	▲4.4
製品売上高計	4,266	100.0	4,025	100.0	4,092	100.0	▲175	▲4.1	+66	+1.6

(注) 当社推計値に基づいております

用途別売上高概況

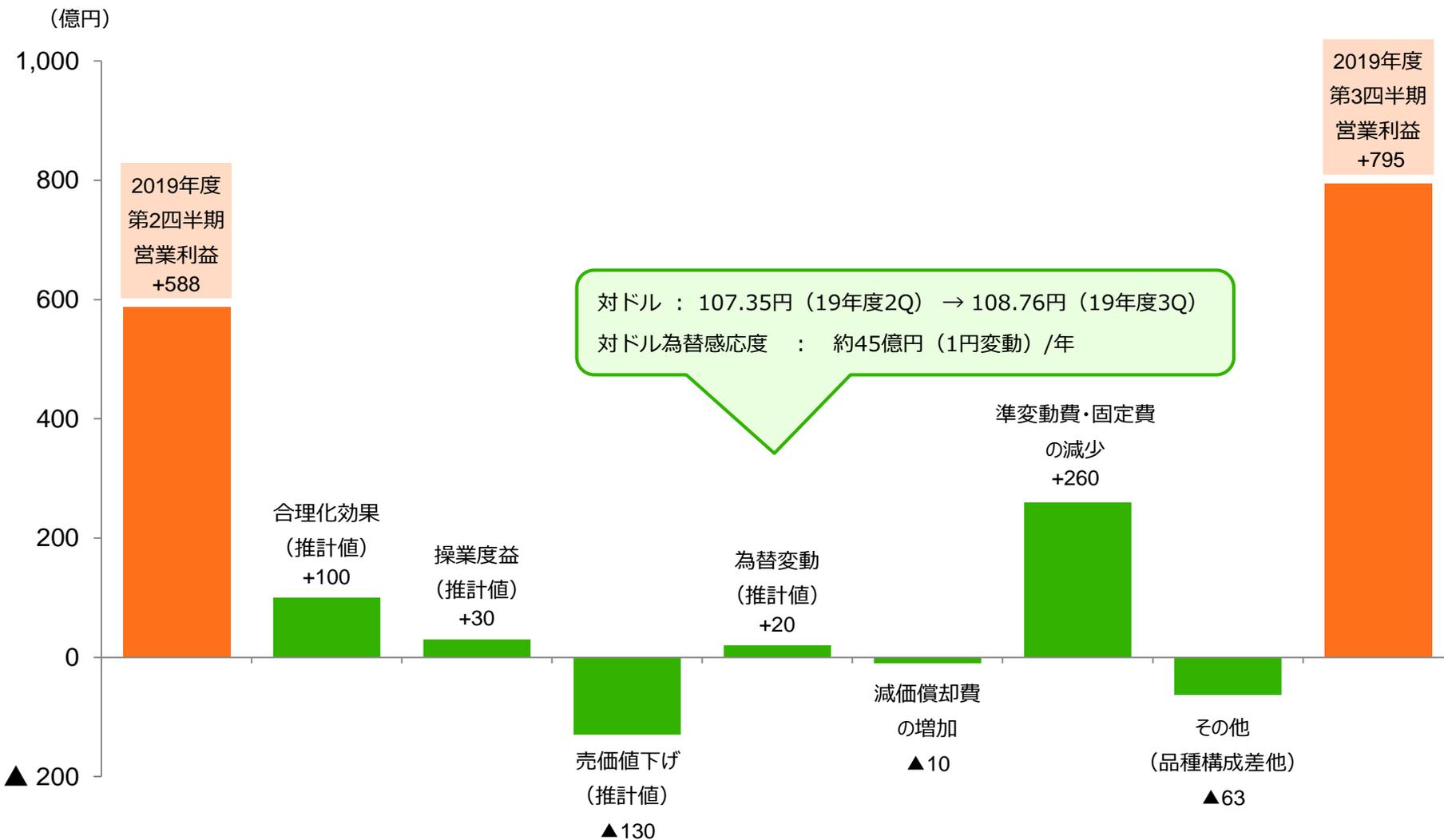
[2019年度第2四半期→2019年度第3四半期]

AV (直近四半期比▲16.2%)	▲ ゲーム機向けでリチウムイオン二次電池やコンデンサが減少
通信 (直近四半期比+6.6%)	○ 基地局向けでコンデンサが大幅に増加 ○ ハイエンドスマートフォン向けで通信機器用モジュールや近距離無線通信モジュールが増加
コンピュータ及び関連機器 (直近四半期比▲4.2%)	▲ タブレットPC向けで近距離無線通信モジュールやコンデンサが減少
カーエレクトロニクス (直近四半期比 横這い)	○ 安全装置向けやインフォテインメント向けで車載用コンデンサが増加 ▲ 電動自転車向けでリチウムイオン二次電池が減少

(注) 当社推計値に基づいております

利益変動要因

[2019年度第2四半期→2019年度第3四半期]



2. 2019年度 業績予想

2019年4月～2020年3月

2019年度 業績予想

	前回予想 (19年4月)			今回予想 (19年10月)					
	上期予想	下期予想	2019年度 通期予想	上期実績		下期予想		2019年度 通期予想	
				(億円)	(%)	(億円)	(%)	(億円)	(%)
売上高	7,650	8,150	15,800	7,609	100.0	7,491	100.0	15,100	100.0
営業利益	1,155	1,045	2,200	1,214	16.0	1,086	14.5	2,300	15.2
税引前当期純利益	1,165	1,055	2,220	1,248	16.4	1,072	14.3	2,320	15.4
当社株主に帰属する 当期純利益	890	810	1,700	907	11.9	793	10.6	1,700	11.3
為替 (円/USD)	110.00			108.63		107.00		107.81	

10月公表値の見直しを行っておりません。

2019年度（2020年3月期）の配当（予定）

1株当たり年間97円

（中間配当47円／期末配当50円）

※期末配当を従来予想比3円増配

2018年度（2019年3月期）の配当実績

1株当たり年間280円

（中間配当140円／期末配当140円）

（注）当社は、2019年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。なお2020年3月期（予想）の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※当配当は現時点での事業環境予測及び業績予想に基づくものであります

当資料に記載されている、当社又は当社グループに関する見通し、計画、方針、戦略、予定、判断などのうち既に確定した事実でない記載は、将来の業績に関する見通しです。将来の業績の見通しは、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する一定の前提に基づき当社グループが予測したものです。実際の業績は、さまざまなリスク要因や不確実な要素により業績見通しと大きく異なる可能性があり、これらの業績見通しに過度に依存しないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の現象、その他の結果に関わらず、当社が業績見通しを常に見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスク要因や不確実な要素には、以下のものが含まれます。(1)当社の事業を取り巻く経済情勢、電子機器及び電子部品の市場動向、需給環境、価格変動、(2)原材料等の価格変動及び供給不足、(3)為替レートの変動、(4)変化の激しい電子部品市場の技術革新に対応できる新製品を安定的に提供し、顧客が満足できる製品やサービスを当社グループが設計、開発し続けていく能力、(5)当社グループが保有する金融資産の時価の変動、(6)各国における法規制、諸制度及び社会情勢などの当社グループの事業運営に係る環境の急激な変化、(7)偶発事象の発生、などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

当資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

Thank you

